



埼玉県立浦和西高等学校
Urawanishi High School

発行日 平成29年10月24日

学校通信 ～西高は今～

発行責任者 校長 高野 能弘

HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

晴れ間の少ない10月でしたが、西高生の活躍が光る充実の秋を迎えています。2年生の修学旅行も無事終わり、進路実現に向けての取組みが本格化します。3年生も高校生活しめくくりの2学期を順調に送っています。

1 タンボリン・マウンテン・ステート高校来校 (9/26-10/1)

9月26日(火)、オーストラリアのタンボリン・マウンテン高校の皆さんが来校しました。10月1日(日)まで、本校の授業に参加、生徒との交流を行いました。

初日は、到着が時刻だったこともあり、ホストファミリーとの対面とウエルカムパーティーを行いました。

翌日は全校での歓迎集会を体育館で行い、和気あいあいとした心温まる時をみんなで持つことができました。その後は日本料理研究、剣道体験、書道体験などの特別授業に参加し、日本の文化や習慣に触れる機会を持ちました。

西高生とはバディを組んで、通常の授業に参加するなど両校の生徒にとって有意義な時間となりました。



10月1日(日)は交流最終日。ホストファミリーと過ごしたタンボリン・マウンテン高校の皆さんが浦和西高校に集合。所々で、別れを惜しむ姿を見ることができました。全員で記念写真を撮影した後、

西高生・ホストファミリー・教職員に見送られながら、帰国の途につきました。短期間ではありましたが、タンボリン・マウンテン高校の皆さんには、浦和西高校での生活を存分に楽しんでいただけたと思います。受け入れにご協力いただいたホストファミリーの皆様にも心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



2 2年修学旅行 (10/12-15)

2学年生徒365名が10月12日(木)から15日(日)まで修学旅行に参加しました。

初日7:20には全員集合し、1～5組は羽田空港第2ターミナル、6～9組は第1ターミナルから沖縄・那覇空港に向けて出発しました。予定通り、那覇空港に到着。クラスごとに、平和祈念公園・資料館、ガマ、ひめゆり資料館見学後、ホテルに到着しました。

2日目、午前中は、テーマ別に分かれて、マリンスポーツ体験(シュノーケリング、シーカヤック)・文化体験・カヌー体験をそれぞれ実施した後、美ら海水族館を見学。本部港からフェリーで伊江島・伊江港へ向かいました。熱烈な歓迎を受け、入村式終了後、班ごとに民泊でお世話になるご家庭へと向かいました。

3日目は、伊江島内での民泊体験で、各家庭でそれぞれのプログラムに参加し、沖縄・伊江島の生活を満喫しました。エイサーや三線体験、農業体験、

漁業体験、城山（グスクマ）登山など盛り沢山の活動でした。

4日目の最終日は民泊先から伊江港に集合。離村式で民泊体験成果発表の後、フェリーで本部港へ。その後、クラスごとにバスで首里城へ向かい、クラス集合写真を撮影して首里城見学の後、那覇市内（国際通り等）を班別行動をし、那覇空港に班別で集合し、2便に分乗して羽田空港に向かい、帰途につきました。

平和学習、民泊体験など沖縄の人々、文化、生活に触れた貴重な思い出の修学旅行となりました。



会共催で、毎年1年生を対象に行われるもので、進路に対する意識を高めるために、本校卒業生から現在の仕事や進路についてのお話を伺う講演会です。

今回は、食を旅するイラストレーター・マンガ家の織田博子さんをお招きして、お忙しい中、大変貴重なお話をさせていただきました。織田さんは平成15年に浦和西高校を卒業後、早稲田大学へ進学。大企業にシステムエンジニアとして勤務の後、退職して一人ユーラシア大陸の旅に出て、帰国後はイラストレーターとして活動を開始。一人旅の漫画の執筆依頼を出版社から受け、漫画家としてのデビューを果たしました。現在は、第一子を出産し、漫画家として活躍をしています。

織田さんからは西高生に「たいていのことでは死なないので好きなことを思いっきりやってみてください」というメッセージをいただき、エールを送っていただきました。

講演会では生徒から様々な沢山の質問があり、丁寧に織田さんに答えていただきました。

有意義な講演会となり感謝です。

なお、織田さんの著書は西高図書館に蔵書されているので是非、一度手に取ってほしいと思います。



3 「未来の種」【進路講演会】 (10/20)

10月20日（金）、1学年が「未来の種」を開催しました。この後援会は、PTA・後援会・西麗